

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第82回

○場 所：神土交流サロン（ふれあいサロン）

○時 期：令和6年2月16日 19：00～20：30

○参加者：委員5名 行政担当4名 一般：3名

### 【今年度の新しい取組み】

・ ・ 暦こよみくらす（東白川村の暮らしや文化の体験イベント） ・ ・

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけや場づくり、村の伝統や文化を後世に伝えることを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標とします。

## 第1 村長あいさつ

皆さんこんばんは。いつも夜分にお集まりくださりありがとうございます。2月となり行政の動きとしましては、次年度予算編成や福祉に関する計画を作成しています。これは、村づくりの設計図となるもので、企業でいう経営計画書にあたります。経営計画とは、目標やビジョンを明確にし、それを実現させるための戦略や計画を具体的に示すもので、役場職員、村民はもちろん人々と、村の方向性と価値を共有する重要なものです。村づくりの根幹となる人口に関することですが、先日、国立社会保障・人口問題研究所から、地域別将来推計人口が発表されました。2050年の生産人口予想では、岐阜県の数値が全国と比較して低い値となり、東白川村は65.4%減少する予想値が示され、県内順位でもワースト5に入っています。東白川村を含めた中濃地方の上流域に位置する自治体は厳しい結果が出ています。これからの村づくりでは、働く人口ストックが

いかに実現できるかが重要となるわけです。このような人口減少課題に直面している中、村では小中一貫校の計画をすすめています。先日、小学校の地域学習発表会に出席しました。子どもたちは、とても元気に発表しており、3年生は村の宝物として、お茶とトマトについての発表があり、また6年生は最上級生らしさを感じました。子どもたちは、自然豊かなこの村で、快活に心豊かに育っています。ひきつづき、ほこりある村づくりへのご協力お願いいたします。

## 第2 雑談から生まれるワークショップ「私の近況報告」

- ・団体名「おやまとこやま」で2回がんばる補助金を活用し、村有林化された雑木林の山みちづくりと維持管理してきた、「みんなのおやま」についてお話しします。「おやまとこやま」の活動は、令和2年度のてくてく文庫の活動を経て、主に新型コロナと子育てのため休止してきました。これまでの活動から、「森のようちえん」のワードによる境界（区別）が生まれにくいよう、「みんなのおやま」のフィールドが子どもたちの選択肢となり「やりたいことができる場所」、「森の中で過ごす場所」としてより多く活用してもらおうような企画を提案します。

- ・私には、子ども時代の秋フェスタの楽しい思い出があります。秋フェスタと文化祭というアートの力が連動し、「みんなのおやま」のPRも兼ねたイベントを企画したいです。

秋フェスタの開催地に隣接する「みんなのおやま」は、なかなか村民の方に利用してもらえていません。そこで、秋フェスタの前週に開催している村の文化祭も連動したものを提案したいです。これには、行政との連携が欠かせないので、この委員会でお伺いしました。企画の提案は可能でしょうか？

⇒〈村長〉

- ・秋フェスタは実行委員会が担っていますので、ぜひ、そちらに企画の提案をしてください。このように、地域活動や村のイベントに民間、住民の

力が活かされるのは、とても望ましいことです。また、はなのき会館に隣接しているキャンプサイトを運営の<sup>グ</sup><sup>ラ</sup><sup>ン</sup><sup>ピ</sup><sup>ー</sup><sup>ク</sup><sup>ス</sup>の協力についても事前に交わしています。

- ・令和6年度の秋フェスタは、11月17日に文化祭と合同開催として「産業文化祭」を開催することが決定しています。これは「清流の国ぎふ」文化祭である国民文化祭と連動したものです。

⇒〈今井事務局長〉

- ・過去には、こもればの館エリアで森の音楽会を開催したこともあり、賑やかで活気のあるイベントが開催されてきました。
- ・最近、心理学と運気の流れについて勉強していて、その知識を活かしたレシピの食提供で、人の身体を癒したいと思っています。まずは、そのような「学びの場」のイベント開催をしていきたいです。
- ・前回委員会の「学び合い会」で児嶋さんのお話を伺いました。これをきっかけに「村でどぶろく作り」ができないかと思い、どぶろく特区について調べ始めました。県内には特区の事例がいくつかありますので、視察にも行きたいと思います。

⇒〈事務局〉

- ・どぶろくの活動を美しい村づくり委員会の分科会活動と位置付けて、今後活動していきましょう。委員の方で興味ある方、加わりたい方はぜひ視察からでも合流してください。
- ・ヤギの赤ちゃんが無事生まれました。また、立て続けにヒツジの赤ちゃんも無事生まれました。
- ・アート力は良いと思います。村で年に2回くらいライブをやっていますが、多くは移住者になっているので、産業文化祭でライブなどできると、村の方に聞いてもらえる機会が増えるのでいいと思います。
- ・子どもが安心して遊ぶことができる「秘密基地」を、竹の伐採・管理で出てくる材で作る予定です。

- ・ <sup>おおみそか</sup>大晦日に購入した古民家に寝泊まりを始めました。自治会長さんや近隣の方へあいさつをしてきました。自治会長さんからいろいろなお話を聞くことができました。
- ・ ペチカ（ロシアの暖炉兼オーブン）が完成しました！まだ、2階部が改修中です。窓は3重サッシにしました。村の方から国の補助金が見えるのではと情報を聞きました。
  - ⇒ 国の補助金は「先進的窓リノベ事業」。
  - ⇒ ペチカ、すごくワクワクします！みんなで見学しましょう！
- ・ 現在休職していて、時間があるので、米作りや野菜作りに精を出す予定です。（無農薬、無施肥、不耕起）
- ・ 私は、猟の免許を持っていますが、村で猟友会による狩猟についての説明会を2月か3月に開催する予定です。みなさん、ぜひ、ご参加ください。  
〈今井事務局長〉
  - ・ 現在、お茶の代替作物調査についての活動に参加しています。ローゼルや栗の調査・視察をしてきて、次回はヘーゼルナッツの視察に長野市まで行きます。楽しい有志の集まりなので、ご興味ある方はお声かけください。

### 第3 <sup>こよみ</sup>曆くらす（暮らしの体験会）

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけづくりを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標としています。運営は、事務局と委員が協働で実施していき、村の方が村でやりたいことを実現する場を設定し活動していくことで、官民協働活動と位置付けています。

## 〈年間スケジュール〉

令和5年度					
朴葉寿司	鮎の友釣り	母樹林 ウォーキング 雨天中止	しめ縄	味噌づくり	母樹林 ウォーキング
令和6年度					
野草 山菜	茶	紅葉 ウォーキング	発酵食	こんにゃく	林業

### 1 味噌づくりについて

決定内容をお伝えし、委員の方にスタッフ協力をお願いしました。

### 2 山菜・野草体験について

春に開催予定の「山菜・野草体験」について、話し合いを行いました。

誰に依頼し、どのような体験をしたいかについて話し合いました。

実施可能な企画案までいたらなかったため、3月に再度話し合いを実施します。

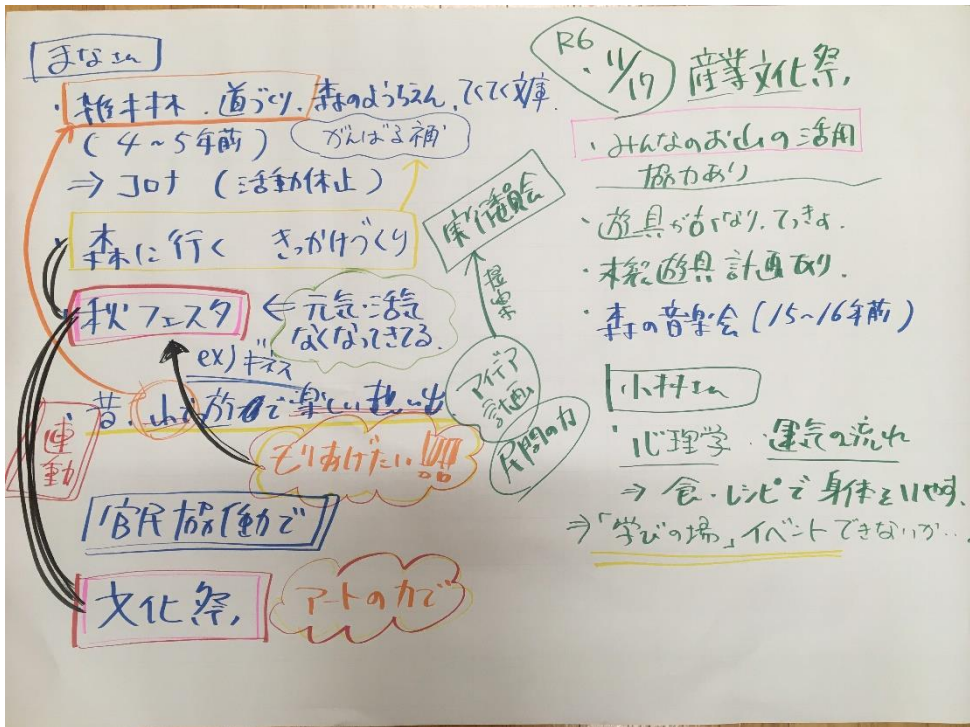
#### 〈意見等〉

- ・山菜等を採取するので、村有林内で実施。
- ・村の名人に総合的にアドバイスを伺う。
- ・調理は現地で天ぷらを揚げる。
- ・野草は危険でリスクが高い。

## 第4 閉会 (21:00)

# 第82回美しい村づくり委員会

- ・いつもお集りに感謝。
- ・予算、福祉計画、障がい児の設計図、作成してある。
- ・経営計画書作りが大事。道しるべ、価値。
- ・春の大人事務移動。
- ・人口動態発表  
 岐阜県 ↓ 中絶奥 ↓ ↓ ↓  
 2050年 Δ65.4%  
 生産人口 (車600台)
- ・24からの26年間。  
 人口ストップ!! が重要!  
 働く人 元気
- ・小学校 発表会。  
 3年生の発表と2年生の発表
- ・小中一貫校 (9年制)  
 教育計画 (R9.8)



以上